

2022 年 11 月 22 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

日本電気硝子株式会社で「グリーンローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下「当行」）は、日本電気硝子株式会社（代表取締役社長 松本 元春、以下「同社」）との間で、後述の適格クライテリアを満たす新規又は既存のプロジェクト（以下、「適格プロジェクト」）に係る新規支出又は既存支出のリファイナンスを資金使途とした「グリーンローン」によるタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

本調達資金の資金使途は、同社のグリーンファイナンス・フレームワークに基づいて、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。同社のグリーンファイナンス・フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、グリーンローン原則への準拠について第三者評価（最上位の「Green 1（F）」）を取得しております。

同社は 1949 年、滋賀県大津市において社員数 90 余名にて創業しました。創業当初のラジオの真空管用ガラスに始まり、現在では自動車、エネルギー、医療、半導体、ディスプレイ、情報通信、社会インフラ、家電・住設など、同社の製品は社会を支える様々な分野へ広がりました。時代のニーズに応じて生活をより豊かにするガラスを開発・提供し、社会の発展に貢献されています。

資源やエネルギーを多く消費する特殊ガラスメーカーにとって、「環境保全」は経営の最重要課題の 1 つです。同社は大切にしている価値観として“自然との共生”を掲げ、地球環境の保全を常に意識して事業を継続しています。そして「世界一効率の高いモノづくりこそが、世界一環境に優しいモノづくりにつながる」との考えのもと、環境負荷の低減のみならず、持続可能な発展や生物多様性の保全など、さまざまな課題対処しており、気候変動が地球規模の重要課題となる中、カーボンニュートラルを達成する為の施策についても推進しています。

<本ローン概要>

契約締結日	2022 年 11 月 22 日
借入人	日本電気硝子株式会社
貸出人	株式会社三菱 UFJ 銀行
借入金額	20 億円
資金使途	適格プロジェクトに係る新規支出又は既存支出のリファイナンス

グリーンローン原則上の分類	適格クライテリア
エネルギー効率（省エネ設備）	全電気溶融炉の切替に係る設備投資・研究開発
	カーボンニュートラルの推進に資する製造プロセス・ユーティリティ設備への投資
再生可能エネルギー	太陽光発電システムに係る設備投資
高環境効率製品、環境適応製品、環境に配慮した生産技術及びプロセス	再生可能エネルギーの活用及び脱炭素促進に資する技術、製品の研究開発

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上